

播陽証券 ＝注目・外株銘柄＝ (2026年4月)

【米国市場・20銘柄掲載】

<新規>

- P1【航空宇宙】 GEエアロスペース(GE)
- P2【航空宇宙】 プラネット・ラブズ(PL)
- P3【半導体】 アーム・ホールディングス(ARM)
- P4【半導体】 アドバンスト・マイクロ・デバイセズ(AMD)
- P5【半導体】 マイクロン・テクノロジー(MU)
- P6【電子部品】 コヒレント(COHR)
- P7【受託製造】 セレスティカ(CLS)
- P8【ネットサービス】 クラウドフレア(NET)

<継続>

- P9【マグニフィセント7】 エヌビディア(NVDA)
- P10【マグニフィセント7】 マイクロソフト(MSFT)
- P11【マグニフィセント7】 アップル(AAPL)
- P12【マグニフィセント7】 アルファベット(GOOG)
- P13【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)
- P14【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ(META)
- P15【マグニフィセント7】 テスラ(TSLA)
- P16【データ解析】 パランティア・テクノロジーズ(PLTR)
- P17【通信機器】 コーニング(GLW)
- P18【電子部品】 ルメンタム・ホールディングス(LITE)
- P19【航空宇宙】 ハウメット・エアロスペース(HWM)
- P20【航空宇宙】 ロケット・ラボ(RKLB)

(株価データ、株価指標は現地2026年3月27日現在)

<新規>

- 航空機エンジン製造・保守サービスの世界大手
- 毎日地球全土を撮影する小型衛星企業
- ソフトバンク傘下の半導体設計技術企業
- CPUからFPGA・GPUまで多品種を揃える半導体メーカー
- 米国を代表するDRAM・NANDメモリ大手
- レーザー技術と光通信モジュールを展開する企業
- AIインフラ構築を裏から支えるEMS(受託製造)大手
- AIエージェントの普及に伴い需要増が見込まれるCDN大手

<継続>

- 時価総額トップとなった、画像処理半導体(GPU)開発企業
- ソフトウェア世界最大手
- デジタルIT機器の設計・販売大手
- インターネット検索世界最大手
- インターネット小売世界最大手
- SNS運営世界最大手
- 米電気自動車(EV)大手
- 防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供
- 特殊ガラス製品メーカー、光ファイバー製造米国最大手
- 光部品・商用レーザーの米国大手
- 特殊金属メーカー、スペースXの有力サプライヤー
- スペースXの対抗馬、垂直統合型の宇宙ビジネス専門企業

航空機エンジンで高い市場シェア、保守サービスが高収益・高成長中

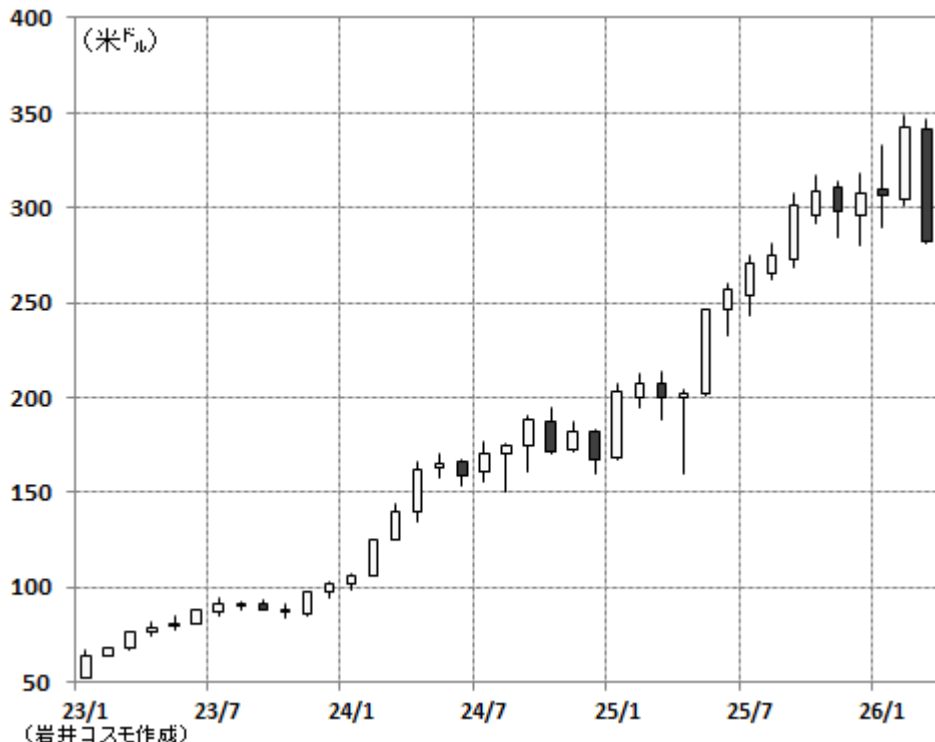
会社概要

1892年創業の複合企業から事業再編を経て、24年4月に航空宇宙専業として独立。民間機及び軍用機のエンジン製造と保守サービスを手掛ける。仏サフランとの合併会社CFMインターナショナルを通じても幅広く事業を展開。世界中で民間機約5万基、軍用機約3万基の自社製エンジンが稼働し、市場で高いシェア保持。納入後の保守・修理(MRO)などのアフターマーケット事業が高収益の源泉となっている。

注目ポイント

□ **航空専業化と保守需要の急拡大**: 24年4月にGEヘルバのスピノフを完了、航空専業の「GEエアロスペース」として新たなスタートを切った。旺盛な航空需要に加え、新造機(ボーイングやエアバス)の納入遅延を背景に既存機体を使い続ける航空会社が増加。利益率が高いエンジンの保守・修理(MRO)需要が急増、同社に恩恵が及んでいる。

□ **中計目標を上方修正**: 25年末の受注残は、民間・防衛向け合わせて1900億ドル規模に膨み、主要エンジンの生産は2030年代まで実質完売状態にある。独自の経営管理・業務遂行システム「FLIGHT DECK」を推進し、経営効率化を図っており、当初約100億ドルとしていた2028年の営業利益目標を約115億ドルに引き上げた。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	282.81 (03/27)
52週高値(日付)	348.35 (26/02/25)
52週安値(日付)	159.47 (25/04/07)
時価総額	2,955億ドル 47兆3,697億円
株価変化率(%)	-3.7 (過去6ヶ月間) 41.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	44 (倍)
株価売上高比率	6.5 (倍)
PBR	15.9 (倍)
税前配当利回り(%)	0.66 (直近年率)
配当成長率(%)	29.2 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	45.8 (%)
株式ベータ	1.30 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	38,702	9	7,620	-27	6,556	-29	5.99	1.12
2025/12	45,855	18	10,000	31	8,704	33	8.14	1.44
四半期業績								
2024/Q4	10,812	—	2,293	—	1,899	—	1.75	0.28
2025/Q4	12,717	18	2,851	24	2,541	34	2.40	0.36

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

AIインフラ投資の最大恩恵を受ける、データセンター空調・電気設備の元請け大手

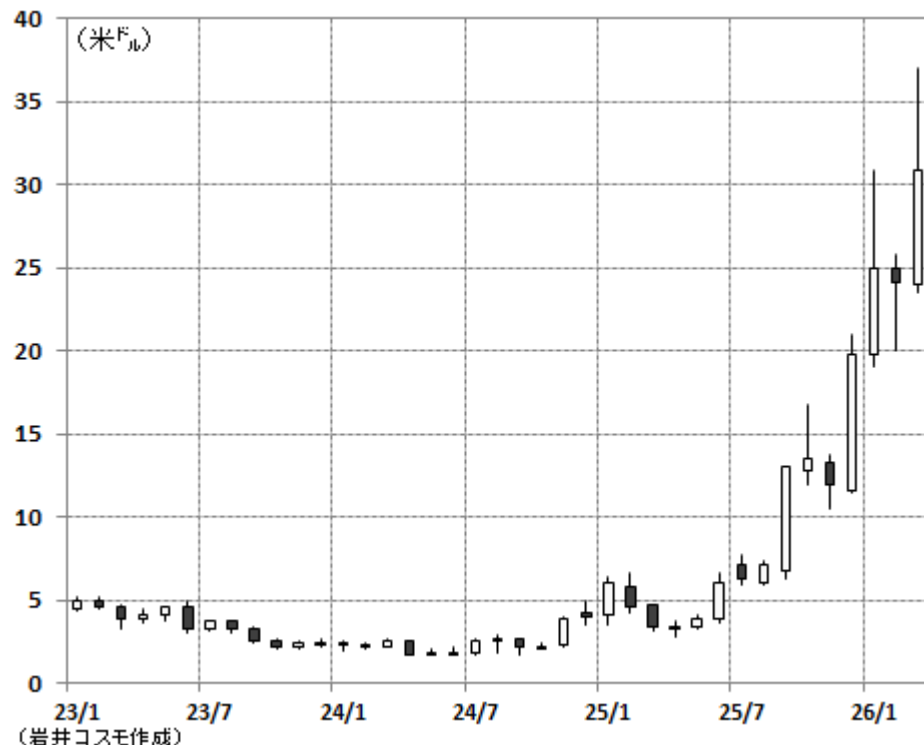
会社概要

2010年に元NASAの科学者らが設立、21年12月に特別買収目的会社との合併を通じてNYSEに上場。多数の小型地球観測衛星を運用し、地球全土を毎日撮影・データ化する宇宙テック企業。業界最多となる稼働衛星群を持ち、日次画像データベースを構築。政府機関や民間企業向けに農業、気象、防衛等幅広い分野の画像やAI分析サービスをサブスクリプション方式で提供している。

注目ポイント

□ **国防・情報部門が急成長**: 26年1月期決算では、売上高の6割を占めた米国防総省等を中心とする「防衛・情報」部門が前年比50%超の驚異的な高成長を記録。単なる画像提供から、AIを用いた解析サービスなど付加価値の高い事業へとシフトを進めており、政府機関からの大型・長期契約が利益率の向上に直結している。

□ **スペースX上場で関連銘柄**: 衛星打ち上げはマスク氏率いるスペースXを使用、比較的lowコストで事業基盤を築いてきた。市場で囁かれる26年半ばのスペースXの上場する期待が高まることで宇宙セクター全体に資金が向かう見通し。次世代の自社衛星の安定稼働と、農業・マッピングなど商業向けの成長が収益改善のカギとなりそう。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	30.86 (03/27)
52週高値(日付)	37.05 (26/03/25)
52週安値(日付)	2.795 (25/04/07)
時価総額	107億ドル 1兆7,125億円
株価変化率(%)	141.3 (過去6ヶ月間) 791.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	30.9 (倍)
PBR	54.9 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-78.4 (%)
株式ベータ	1.91 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/01	244	11	-116	赤継	-123	赤継	-0.42	0.00
2026/01	308	26	-95	赤継	-247	赤継	-0.80	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2025/Q4	62	—	-19	—	-35	—	-0.12	0.000
2026/Q4	87	41	-36	赤継	-152	赤継	-0.48	0.000

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトバンク傘下の半導体設計技術企業、初の自社製チップ販売へ

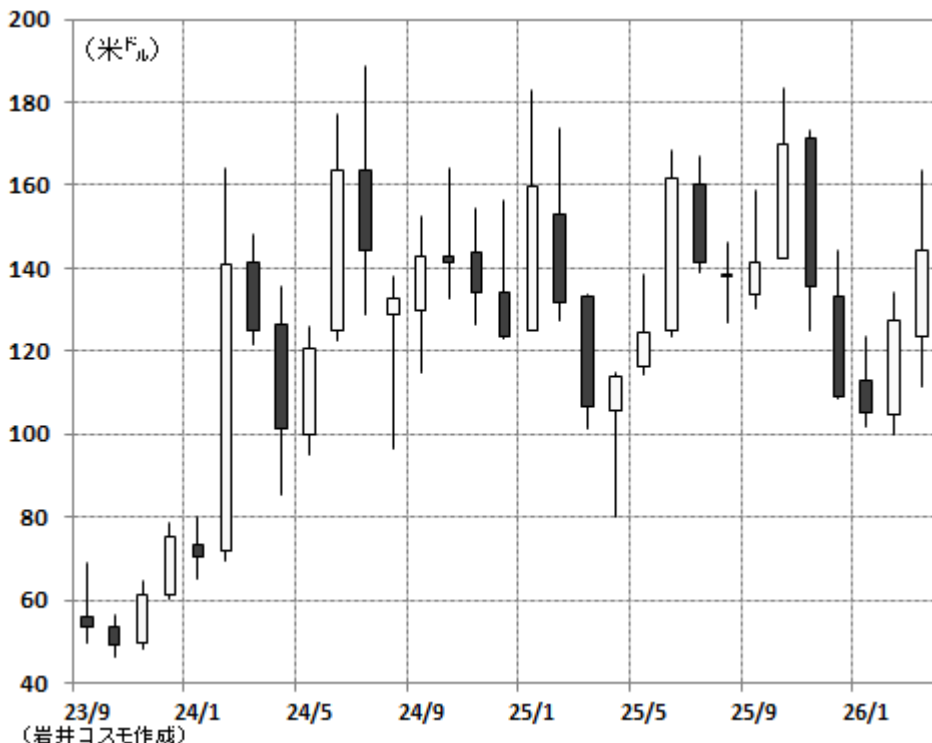
会社概要

ソフトバンク傘下の英半導体設計大手。自社で半導体製造は行わず、低消費電力型プロセッサの設計技術を世界中の半導体メカ等にライセンス提供。PC、スマホ、データセンター、自動車、ネットワーク機器等、様々な半導体に同社設計の回路が使われている。主要顧客はアップル、アマゾン、エヌビディア等。1990年創業、2016年にソフトバンクが同社を買収(現在約9割保有)、2023年9月に米ナスダック市場に再上場した。

注目ポイント

□ **自社製AIチップ販売へ歴史的転換**: 26年3月に自律的に動くエージェントAIに最適化した初の自社製半導体「AGI CPU」を発表。設計IPの提供に留まらないビジネスモデルの転換となる。メタやオープンAI等を初期顧客として獲得済みで、5年後の2031年までに自社製チップ単体で年間150億ドルの売上を創出する強気な目標を掲げた。

□ **最新設計「v9」の普及による高収益化**: スマホ市場が成熟する中、ロイヤリティ単価が高い最新設計仕様「v9」の浸透が既存事業を強力に牽引。25年10-12月期決算では総収入が前年同期比26%増収を記録。消費電力が課題となるAIデータセンター向けの採用も拡大しており、知的財産(IP)事業の高付加価値化も順調に進展した。



株価チャート (上場来・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	144.13 (03/27)
52週高値(日付)	183.16 (25/10/27)
52週安値(日付)	80 (25/04/07)
時価総額	1,531億ドル 24兆5,380億円
株価変化率(%)	3.1 (過去6ヶ月間) 33.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	175.7 (倍)
株価売上高比率	32.7 (倍)
PBR	19.6 (倍)
税配前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	11.3 (%)
株式ベータ	2.19 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/03	3,233	21	111	-83	306	-42	0.29	0.00
2025/03	4,007	24	831	649	792	159	0.75	0.00

四半期業績

2025/Q3	983	—	175	—	252	—	0.24	0.00
2026/Q3	1,242	26	185	6	223	-12	0.21	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー、市場シェア獲得に期待

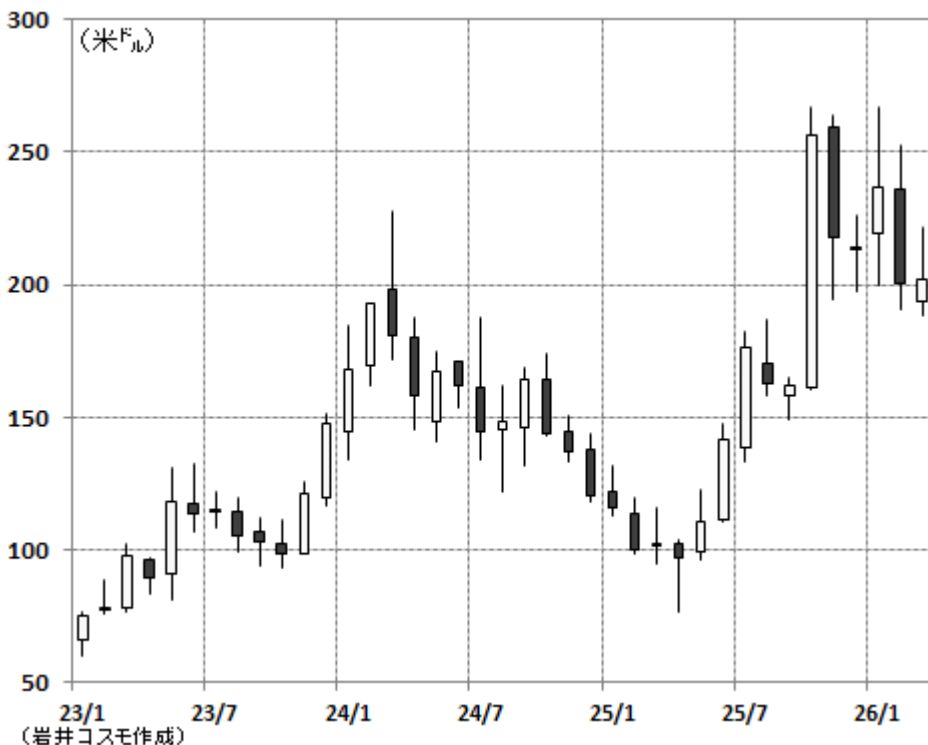
会社概要

1969年設立の老舗半導体メカ。自社で工場を持たないファブレス型の米半導体大手。PC向けCPU「Ryzen」やサーバ向けCPU「EPYC」、AI向けGPU「Instinct」を展開。22年にサイリンクスを買収しFPGA分野にも参入。年初のCES 2026では次世代GPUとCPUを統合したAI基盤「Helios」を発表する等、チップ単体からAIシステム全体を提供する企業へと進化。CPUでインテル、GPUでエヌビディアと激しいシェア争いを展開。

注目ポイント

□ **巨大ITと大型契約**: エヌビディア一強への過度な依存や価格支配を嫌う巨大IT企業が、同社AIアクセラレータの採用を拡大。26年2月にメタから1000億ドル規模の大口受注があった。他の巨大クラウドベンダーからの大型契約受注の可能性が。AI推論分野での高コスパを武器にAI・GPU市場でのシェア獲得が期待される。

□ **粗利益率の改善継続に期待**: 26年第1四半期のガイダンスでは、対中輸出規制に伴う中国向け売上的大幅減が示され、足元の懸念材料となったが、高収益なデータセンター部門の大幅な伸びにより、全社の粗利益率は改善傾向が続いた。北米を中心とした旺盛なAI需要で相殺し、本格的な利益成長を加速できるかが今後の焦点。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	201.99 (03/27)
52週高値(日付)	267.05 (25/10/29)
52週安値(日付)	76.49 (25/04/08)
時価総額	3,293億ドル 52兆7,920億円
株価変化率(%)	25.2 (過去6ヶ月間) 95.7 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	79.4 (倍)
株価売上高比率	9.5 (倍)
PBR	5.2 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	7.2 (%)
株式ベータ	1.53 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	25,785	14	1,900	374	1,641	92	1.00	0.00
2025/12	34,639	34	3,694	94	4,335	164	2.65	0.00
四半期業績								
2024/Q4	7,658	—	871	—	482	—	0.29	0.00
2025/Q4	10,270	34	1,752	101	1,511	213	0.92	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米半導体メモリ大手、AI向けのHBM特需と汎用品価格急騰の二重の追い風

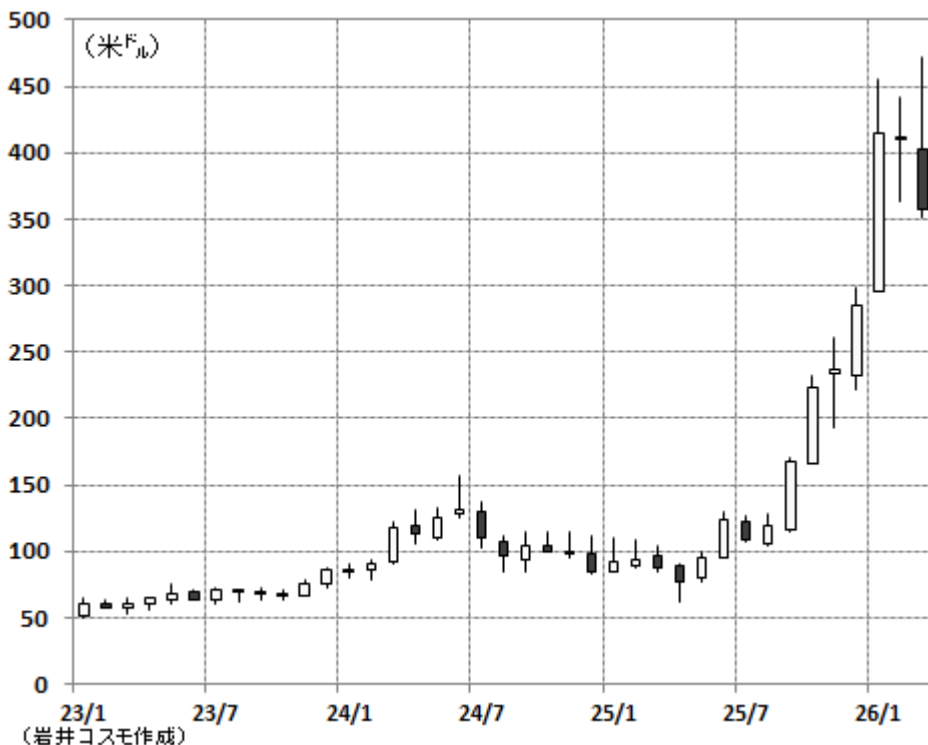
会社概要

1978年設立の米半導体大手。DRAMやNAND型フラッシュメモリなど記憶媒体の設計・製造を手掛ける。サムスン電子、SKハイニックスと共に世界のメモリ市場を寡占。スマホやPC向けに加え、近年はデータセンターや車載向けを強化。特に生成AIサーバに不可欠な広帯域メモリ(HBM)の開発に注力し、エヌビディアの最新GPUにも採用されている。製品別売上構成(25年度)はDRAMが76%、NANDフラッシュ23%。

注目ポイント

□ **AI特需でHBMが27年分まで販売先確保**: 生成AIに必要な広帯域メモリ(HBM)の需要が急増し、同社の27年のHBM生産分まで長期契約で大部分の販売先が決定済み。最新のHBM3Eや次世代HBM4の拡販で強力な価格交渉力を獲得。メモリ業界特有の好不況のサイクルを脱却、AI需要主導の高収益ビジネスへと変貌を遂げつつある。

□ **歴史的決算と利益率の劇的改善**: 12-2月期実績は、売上高が239億ドル、調整後1株利益が12.20ドルと市場予想を大幅に上回る歴史的業績となった。高付加価値なAI向け製品へのシフトが奏功、粗利益率は約75%へ急上昇。続く3-5月期売上高見通しも328-343億ドルと極めて強気で、配当増額など株主還元も評価されている。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	357.22 (03/27)
52週高値(日付)	471.27 (26/03/18)
52週安値(日付)	61.57 (25/04/07)
時価総額	4,028億ドル 64兆5,807億円
株価変化率(%)	118.0 (過去6ヶ月間) 303.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	16.7 (倍)
株価売上高比率	6.9 (倍)
PBR	5.6 (倍)
税前提当利回り(%)	0.17 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	39.8 (%)
株式ベータ	2.00 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/08	25,111	62	1,304	黒転	778	黒転	0.70	0.460
2025/08	37,378	49	9,770	7.5倍	8,539	11倍	7.59	0.460
四半期業績								
2025/Q2	8,053	—	1,773	—	1,583	—	1.41	0.115
2026/Q2	23,860	3.0倍	16,135	9.1倍	13,785	8.7倍	12.07	0.115

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

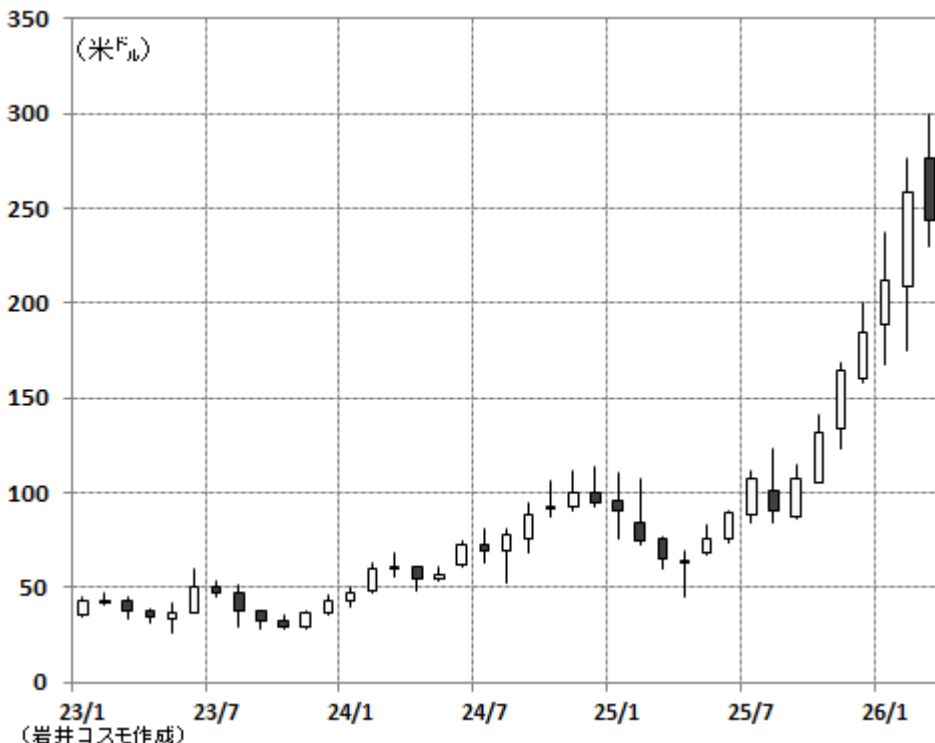
光通信部品の米国大手、AIデータセンター向けの需要が急増

会社概要

1971年設立のツシックス(II-VI)が、22年に旧コヒレントを買収して現社名に変更。光通信部品、レーザー機器、最先端材料を手掛ける世界的な大手。データセンター(DC)向けの超高速光トランシーバや、電気自動車(EV)向けの次世代半導体材料である炭化ケイ素(SiC)ウエハ等で業界を牽引。素材からモジュールまで自社で一貫製造する垂直統合型のビジネスモデルを強みとし、AIインフラから産業用まで幅広い市場に展開。

注目ポイント

- AI特需で光通信部門が急成長:** 生成AIの普及に伴うDCの帯域幅拡大需要を背景に、主力の800Gや次世代1.6T超高速光トランシーバの販売が急増。10-12月決算では、売上が前年同期比約17%増の16.8億ドルとなり、DC通信部門に限れば同34%増の高成長。AI投資の恩恵を受け、全社の利益率を押し上げに貢献した。
- 日系提携とAI転用でSiC事業を強靱化:** EV減速による逆風下でも、テッソや三菱電機からの10億ドルの出資と長期契約により、投資リスクを抑えつつ次世代ウエハの量産体制を堅持。またSiC技術を電力消費が激しい「AIデータセンターの熱・電力管理」へ応用・拡大する方針を発表。AIインフラ向けの新たな成長軸を加え事業強化を推進する。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	243.48 (03/27)
52週高値(日付)	300.11 (26/03/04)
52週安値(日付)	45.6 (25/04/04)
時価総額	456億ドル 7兆3,178億円
株価変化率(%)	125.5 (過去6ヶ月間) 270.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	133.3 (倍)
株価売上高比率	6.1 (倍)
PBR	5.3 (倍)
税引前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	#N/A Field (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	2.8 (%)
株式ベータ	2.16 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	4,708	-9	-148	赤継	-280	赤継	-1.84	0.00
2025/06	5,810	23	94	黒転	-81	赤継	-0.52	0.00
四半期業績								
2025/Q2	1,435	—	128	—	71	—	0.44	0.00
2026/Q2	1,686	17	168	31	145	104	0.76	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

グーグルの独自AI半導体「TPU」を搭載したAIサーバーラックの製造を一貫して受託

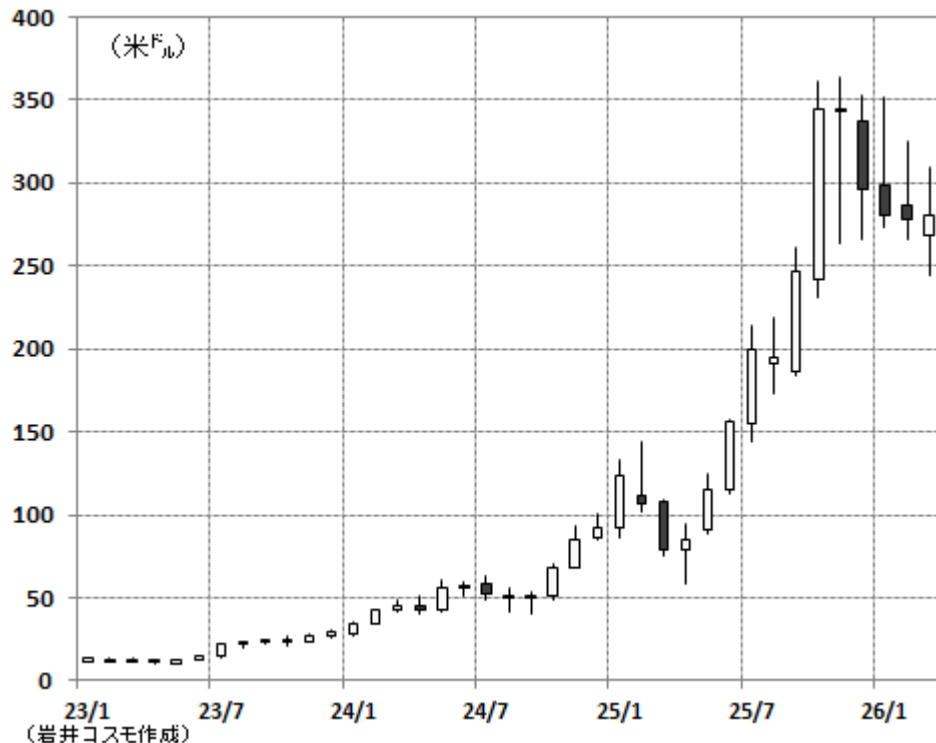
会社概要

1996年にIBMのカナダ製造部門から独立した電子機器受託製造(EMS)大手。従来はPCや通信機器中心だったが、現在は高収益なクラウド・AIインフラ向け(CCS部門)と、産業・航空宇宙向け(ATS部門)へ事業構造をシフト。特に巨大IT企業向けのAIサーバやネットワーク機器の共同設計・製造に強みを持つ。独自の高度な熱管理技術などを武器に世界のデータセンター構築を支えている。NYSE・カナダ重複上場。

注目ポイント

IT大手のAIインフラ構築に積極関与: グーグルが独自開発するAI半導体「TPU」を搭載したAIサーバラックの製造を一貫して受託している。また膨大なAIサーバ群を繋ぐ800Gネットワークスイッチ需要も爆発的に増加しており、これらを含むCCS部門が全社売上の7割以上を占めるまでに急成長を遂げた。単なる下請けから高付加価値な共同設計製造(JDM)へと事業モデルを転換している。

次世代に向けた強気な投資: 10-12月は44%増収と急拡大、調整後営業利益率は過去最高の7.7%に到達。次世代インフラの確実な需要増を見据え、26年設備投資は約10億ドルへ大幅増額方針ながら、26年通期も事業拡大に伴って大幅増収増益を見込む。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	280.22 (03/27)
52週高値(日付)	363.4 (25/11/05)
52週安値(日付)	58.1 (25/04/04)
時価総額	322億ドル 5兆1,549億円
株価変化率(%)	13.9 (過去6ヶ月間) 238.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	42.9 (倍)
株価売上高比率	2.6 (倍)
PBR	14.5 (倍)
税配前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	#N/A Field (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	40.5 (%)
株式ベータ	2.05 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	9,646	21	599	77	428	75	3.61	0.00
2025/12	12,391	28	1,041	74	833	95	7.16	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2024/Q4	2,546	—	203	—	152	—	1.29	0.000
2025/Q4	3,655	44	314	55	268	76	2.31	0.000

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット上の通信高速化(CDN)やセキュリティ分野で躍進するグロース企業

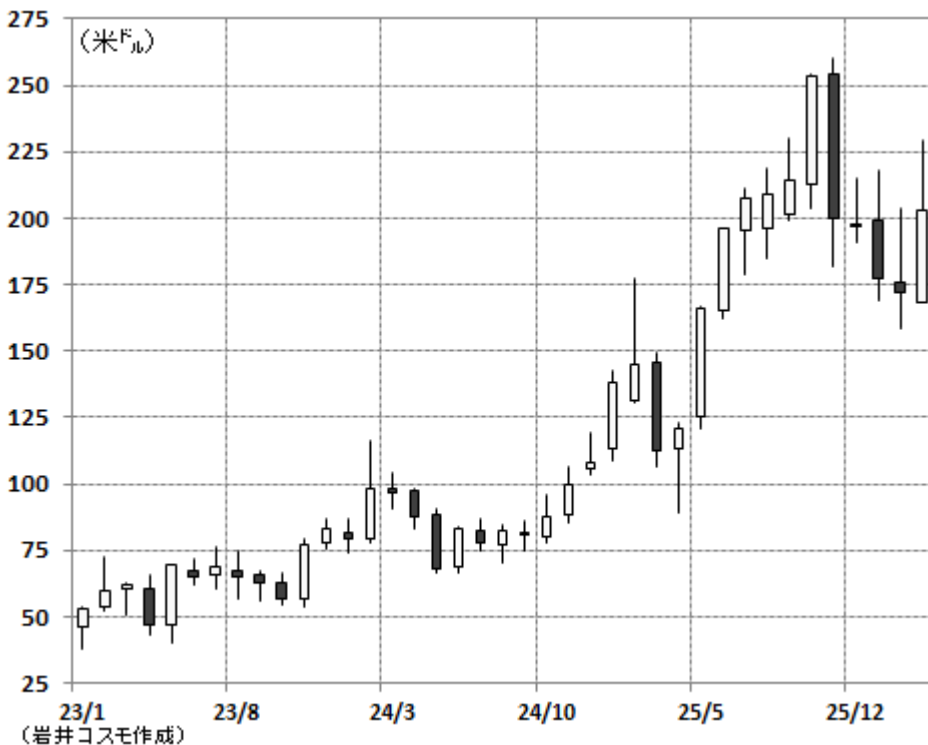
会社概要

2009年創立。世界中に広がる通信網を通じ、ウェブの高速配信(CDN)とサイバ-セキュリティ機能を提供するクラウド企業。世界中のトラフィックを処理し、DDoS攻撃対策などネットワーク保護に強みを持つ。近年は「ゼロトラスト・セキュリティ」の導入拡大で大企業向けの高単価契約が増加。最先端のAI関連企業を多数顧客に抱える点も同社の大きな強みだ。2025年末時点で33万超の有料顧客を抱えるまで成長。

注目ポイント

□ **AIエージェント特需**: 中国で流行するAIエージェント「オープンクロ-」等の影響で、インターネット上の自動化トラフィックが爆発的に増加。同社はこれらAIの通信保護やCDNを提供する特需が発生。有望なAI関連企業を多数顧客に抱え、新たなAIエージェント特需の期待が高まっている。

□ **大企業向けセキュリティ製品が業績牽引**: サイバ-脅威の高度化を背景に、境界防御に依存しない「ゼロトラスト・セキュリティ」へのシフトが企業間で加速している。同社ではセキュリティ製品拡充を通じて、大企業を中心とした高単価かつ複数年の大型契約を着実に獲得。収益基盤の安定化と高付加価値化が進んでおり、世界規模の強固なネットワークを武器に中長期的な力強い成長持続・収益改善が期待される。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	203.02 (03/27)
52週高値(日付)	260 (25/11/03)
52週安値(日付)	89.48 (25/04/07)
時価総額	715億ドル 11兆4,609億円
株価変化率(%)	-7.1 (過去6ヶ月間) 76.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	N/A (倍)
株価売上高比率	32.6 (倍)
PBR	49.0 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	1.42 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	1,670	29	-155	赤継	-79	赤継	-0.23	0.00
2025/12	2,168	30	-207	赤継	-102	赤継	-0.29	0.00

四半期業績

2024/Q4	460	—	-35	—	-13	—	-0.04	0.00
2025/Q4	615	34	-49	赤継	-12	赤継	-0.03	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AI(人工知能)に欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握

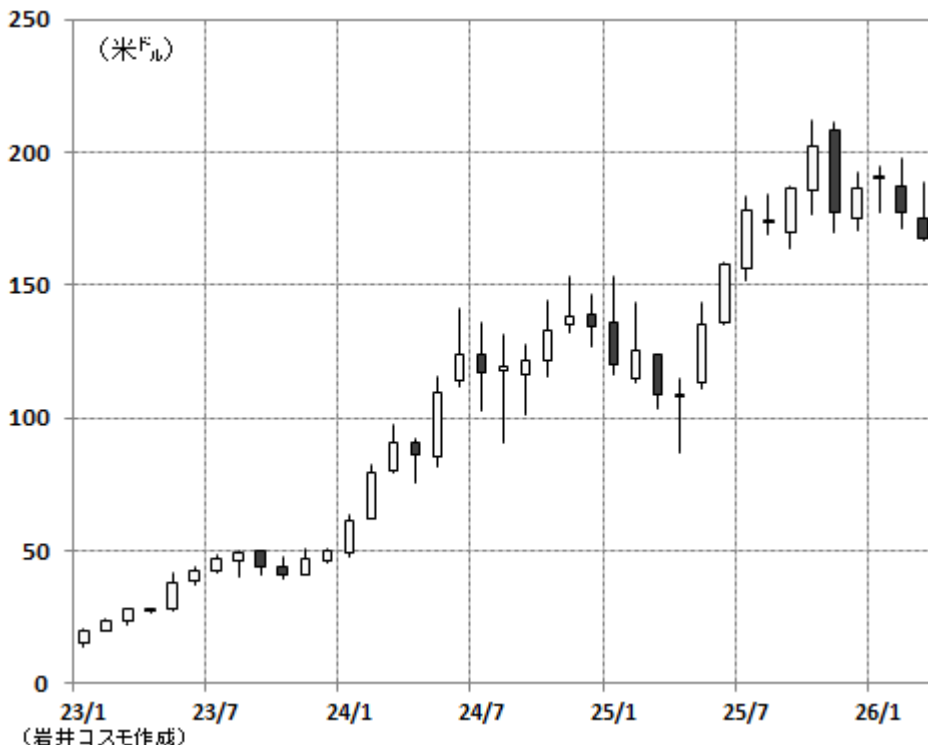
会社概要

1993年設立の米半導体大手。PCゲーム向けの画像処理半導体(GPU)の開発からスタートしたが、現在はデータセンター(DC)向けのAI用半導体で世界市場を高いシェアを有する。ハードウェアだけでなく、AI開発に不可欠なソフトウェア基盤「CUDA」を提供、他社の追随を許さない強力なエコシステムを構築。用途別売上構成は、DC向けが90%、ゲーム向けが7%、プロ視覚化が1.5%、自動車が1.1%、OEM&IPが0.3%(前期)。

注目ポイント

□ **次世代品サンプル出荷開始と新構想**: 「ブラックウェル」の力強い需要が続く中、次世代プラットフォーム「ベラ・ル・ベイン」のサンプル出荷を既に開始し、本格量産は年後半の予定。3月16日の技術開発者会議「GTC 2026」では、半導体技術企業グロック社との協業や、独自CPUの単独展開など新たな構想が発表され、競争力の高さを示した。

□ **27年までに売上1兆ドル**: GTCではAIが自律的に動く「エージェントAI」の進化により計算需要が急増中と指摘。25年から27年までの累計売上高で「最低1兆ドル」に達するとの強気な新目標を発表した。従来の26年までに5000億ドル予想を倍増させる規模であり、「ブラックウェル」等への強固な受注残が高度成長を裏付けている。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	167.52 (03/27)
52週高値(日付)	212.15 (25/10/29)
52週安値(日付)	86.63 (25/04/07)
時価総額	4兆0,707億ドル 652兆5797億円
株価変化率(%)	-7.9 (過去6ヶ月間) 52.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	36.3 (倍)
株価売上高比率	18.9 (倍)
PBR	25.9 (倍)
税前提当利回り(%)	0.02 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	101.5 (%)
株式ベータ	1.81 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/01	130,497	114	81,453	147	72,880	145	2.94	0.034
2026/01	215,938	65	130,387	60	120,067	65	4.90	0.040

四半期業績

2025/Q4	39,331	—	24,034	—	22,091	—	0.89	0.010
2026/Q4	68,127	73	44,299	84	42,960	94	1.76	0.010

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で高成長続く

会社概要

1975年創立。PC用OS「ウィンドウズ」や業務ソフト「オフィス」で圧倒的シェアを誇る米IT大手。近年はクラウド基盤「アジュール」が急成長し収益の柱。生成AI分野を強力に牽引しており、対話型AIを手掛けるオープンAIの筆頭株主として強固な協業体制を構築。同社の技術を活用したAI機能「コパイロット」を自社製品群に全面展開し、法人・個人双方で高付加価値化を推進中。NYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**：10-12月期売上高は前年同期比17%増の813億ドル。中でもアジュールを含むインテリジェント・クラウド部門の売上高は29%増の329億ドルと予想を上回った。アジュール単体の成長率は39%に達した。自社製AI半導体「マイア200」を新たに導入、供給制約の解消とコスト効率化を推進。AIインフラ投資は同66%増の375億ドルと過去最大規模に膨らむが、旺盛なAI需要を収益化する。

□ **AI機能「コパイロット」統合へ**：消費者・法人向けで組織が分断され、機能のばらつきが見られたAIアシスタント「コパイロット」の開発体制を統合する方針を発表。一貫性のあるシステムへの移行を目指す。シンプルで優れたAI体験を提供、利便性の向上とシェア拡大を図る。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	356.77 (03/27)
52週高値(日付)	555 (25/07/31)
52週安値(日付)	344.83 (25/04/07)
時価総額	2兆6,492億ドル 424兆6999億円
株価変化率(%)	-30.7 (過去6ヶ月間) -5.8 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	23.8 (倍)
株価売上高比率	8.7 (倍)
PBR	6.8 (倍)
税前提当利回り(%)	1.02 (直近年率)
配当成長率(%)	10.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	34.4 (%)
株式ベータ	1.01 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00
2025/06	281,724	15	128,528	17	101,832	16	13.64	3.24

四半期業績

2025/Q2	69,632	—	31,653	—	24,108	—	3.23	0.83
2026/Q2	81,273	17	38,275	21	38,458	60	5.16	0.91

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

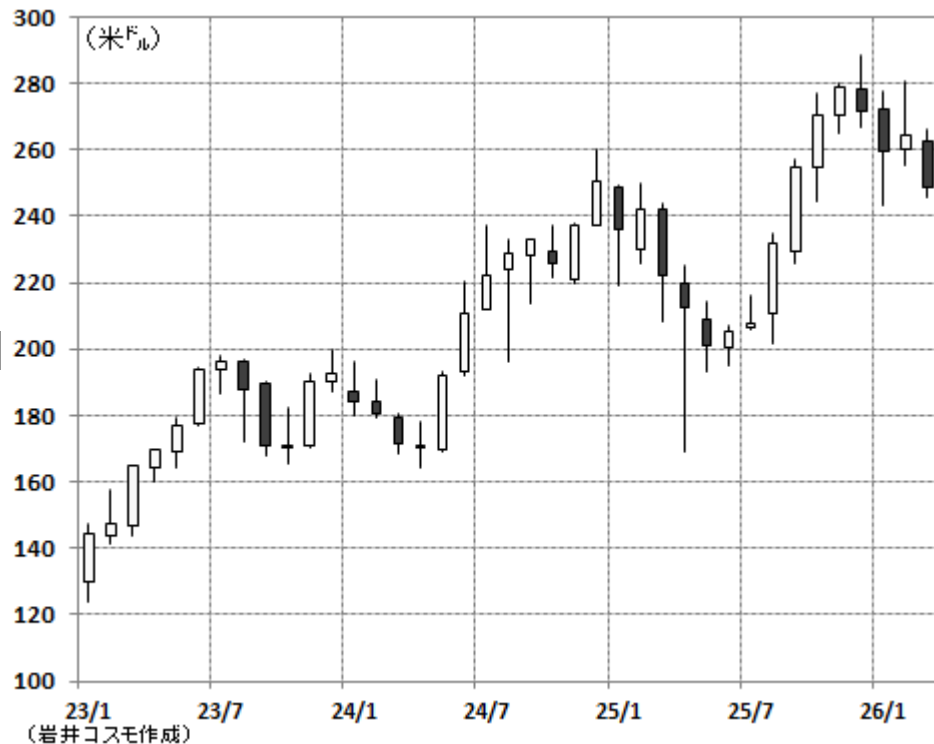
会社概要

スマートフォン(スマホ)「iPhone」や、タブレットPC「iPad」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **10-12月期は歴史的増収**：25年10-12月期は前年同期比16%増収、同16%最終増益。9月発売の「iPhone17」および薄型「iPhoneエア」はAI処理能力が大幅に強化され、旧機種からの記録的な買い替え需要を創出、中華圏売上も38%増と急回復した。

□ **6月WWDCで次世代AIとSiri進化へ**：6月8日開幕の世界開発者会議(WWDC 2026)では次期OS「iOS 27」が発表される見通し。最大の焦点は対話型AI機能の刷新であり、音声助手「Siri」の本格的なチャット化が披露されるとの観測報道が浮上している。生成AI分野での巻き返し策や、折りたたみ型端末への布石となる新機能の全貌に市場の関心が高まっている。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	248.8 (03/27)
52週高値(日付)	288.6 (25/12/03)
52週安値(日付)	169.22 (25/04/08)
時価総額	3兆6,527億 ^{ドル} 585兆5591億円
株価変化率(%)	-2.2 (過去6ヶ月間) 14.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	31.5 (倍)
株価売上高比率	8.5 (倍)
PBR	41.5 (倍)
税配当利回り(%)	0.42 (直近年率)
配当成長率(%)	4.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	152.0 (%)
株式ベータ	1.09 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08	0.98
2025/09	416,161	6	133,050	8	112,010	19	7.46	1.02
四半期業績								
2025/Q1	124,300	—	42,832	—	36,330	—	2.40	0.25
2026/Q1	143,756	16	50,852	19	42,097	16	2.84	0.26

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

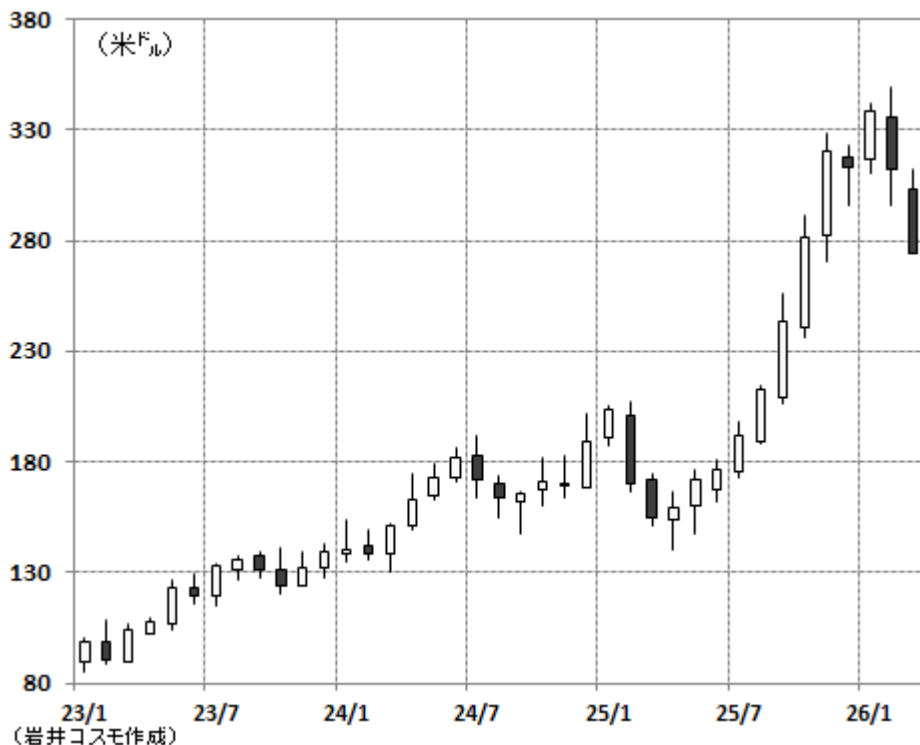
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は190,820人(25年12月末)。

注目ポイント

□ **最新AI「Gemini 3.5」とクラウドの加速**: 10-12月期売上高は前年同期比18%増の1,138億ドル。検索広告の堅調に加え、AI需要を取り込んだクラウド部門が47%増の176億ドルと急成長し利益を牽引。26年1月には、推論能力と処理速度を飛躍させた「Gemini 3.5」を全サービスに統合。AI検索の進化により広告単価も上昇傾向にあり、生成AIによる収益化フェーズが本格化している。

□ **「ウェイモ」の日本進出**: 自動運転部門ウェイモは初の海外進出先として東京やロンドンを選定。25年4月から東京都心で地図作成と実証走行を開始、26年の稼働を目指す。一方、電力確保のため再エネ大手「インタセクト・パワー」を取得。AIインフラの安定稼働と低炭素化を両立を図る。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	274.34 (03/27)
52週高値(日付)	349 (26/02/03)
52週安値(日付)	140.53 (25/04/07)
時価総額	3兆3,153億ドル 531兆4748億円
株価変化率(%)	12.4 (過去6ヶ月間) 77.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	29.7 (倍)
株価売上高比率	8.2 (倍)
PBR	8.1 (倍)
税前提当利回り(%)	0.31 (直近年率)
配当成長率(%)	5.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	35.7 (%)
株式ベータ	1.07 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	350,018	14	112,390	33	100,118	36	8.04	0.60
2025/12	402,836	15	129,039	15	132,170	32	10.81	0.83

四半期業績

2024/Q4	96,469	—	30,972	—	26,536	—	2.15	0.20
2025/Q4	113,828	18	35,934	16	34,455	30	2.82	0.21

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

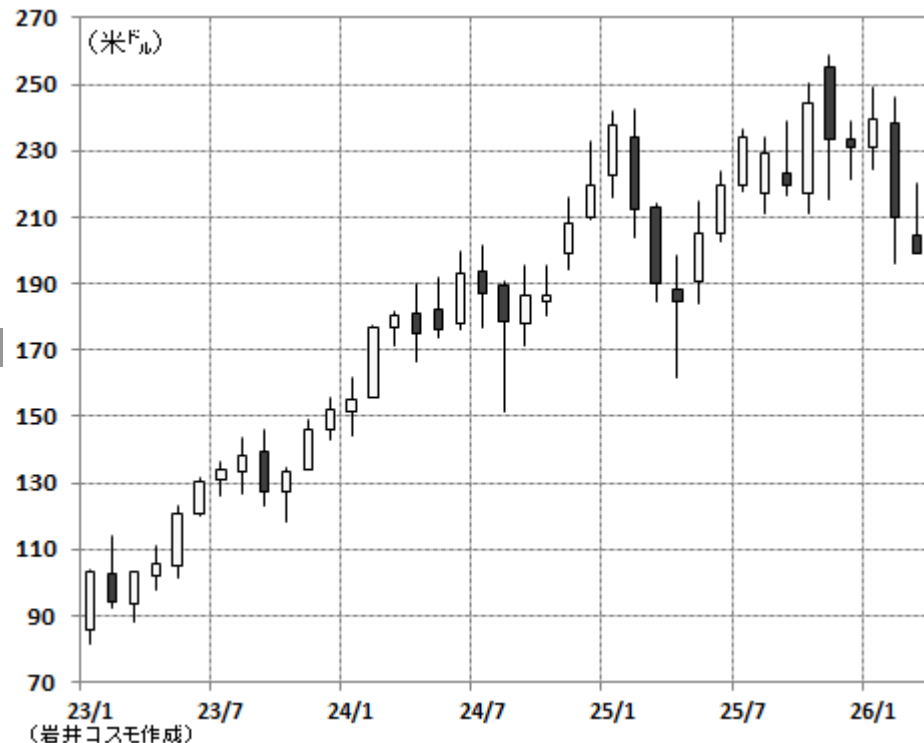
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントンシアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注目ポイント

□ AWSが成長再加速: 10-12月期の主力のAWS(クラウド)部門は前年同期比24%増収と過去13四半期で最大の伸びを記録、年換算売上高は1,420億ドルに到達した。AI需要の爆発により受注残高は前年比40%増の2,440億ドルへ急増。また25年の広告事業は前期比22%増(686億ドル)と高成長を維持する。一方、AIインフラ拡充のため、26年設備投資額を同約5割増の2,000億ドルと巨額となる。

□ AIによる組織変革と収益性: 26年1月、組織のフラット化と自動化を目的とした「プロジェクト・D」の下、世界で約1.6万人の追加人員削減を実施。AIチャットボット「ルーフラス」や、物流ロボティクスの進化等を通じて固定費抑制と顧客体験の向上を同時達成を目指す。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	199.34 (03/27)
52週高値(日付)	258.59 (25/11/03)
52週安値(日付)	161.56 (25/04/07)
時価総額	2兆1,399億ドル 343兆0472億円
株価変化率(%)	-10.3 (過去6ヶ月間) 3.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	28.5 (倍)
株価売上高比率	3.0 (倍)
PBR	5.2 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.3 (%)
株式ベータ	1.26 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	637,959	11	68,593	86	59,248	95	5.53	0.00
2025/12	716,924	12	79,975	17	77,670	31	7.17	0.00

四半期業績

2024/Q4	187,792	—	21,203	—	20,004	—	1.86	0.00
2025/Q4	213,386	14	24,977	18	21,192	6	1.95	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

日々35億人超のユーザーが利用する世界最大のSNS運営会社

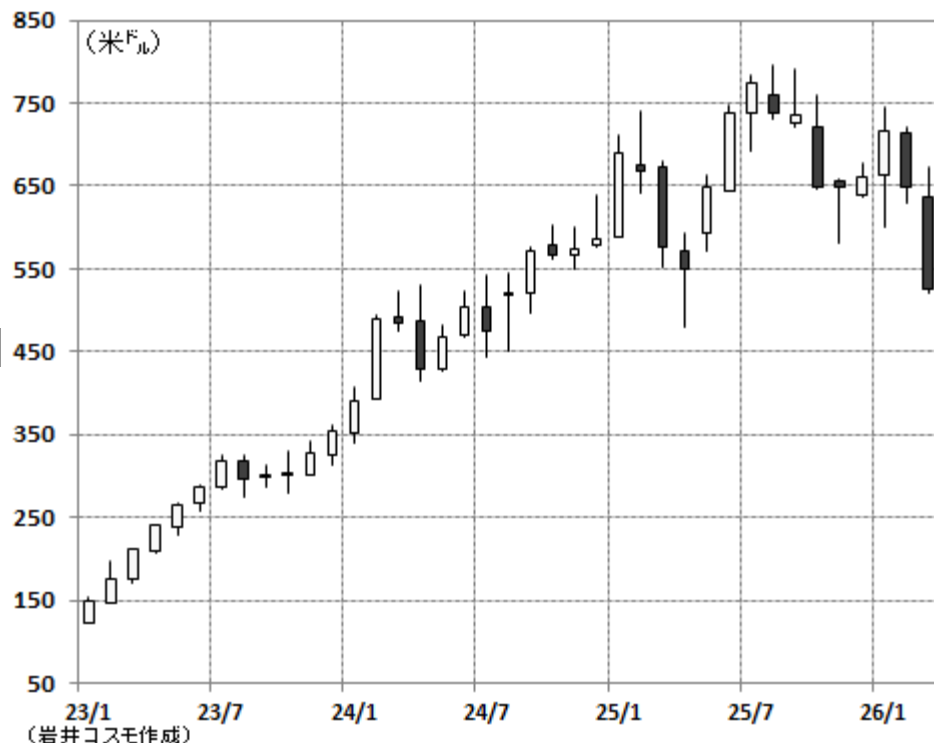
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(インスタグラム等も含む)は全世界で35.8億人(25年10-12月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は78,865人(25年12月末時点)。

注目ポイント

AI投資優先・人員再編観測報道も：10-12月期は売上高が前年同期比24%増の599億ドルと、主力の広告事業が業績を力強く牽引。一方で26年の設備投資を最大1350億ドル規模へ増額方針を提示。巨額のAIインフラ投資の原資を確保するため、足元では不採算のメタバース部門等を中心に大規模な人員削減を実施するとの報道が相次いでおり、事業体制の急旋回が鮮明。

SNS依存症裁判の敗訴：3月にSNSが若者の依存症や精神的被害を引き起こしたとする画期的な訴訟で敗訴、損害賠償の支払いを命じられた。全米で同種の大規模訴訟への波及は必至で、規制強化やブランド価値低下を招く潜在リスクとして警戒感が強まった。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	525.72 (03/27)
52週高値(日付)	796.21 (25/08/15)
52週安値(日付)	479.89 (25/04/21)
時価総額	1兆3,303億ドル 213兆2538億円
株価変化率(%)	-29.3 (過去6ヶ月間) -8.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	18.0 (倍)
株価売上高比率	6.6 (倍)
PBR	6.1 (倍)
税前配当利回り(%)	0.40 (直近年率)
配当成長率(%)	3.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	30.2 (%)
株式ベータ	1.22 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	164,501	22	69,380	48	62,360	59	23.86	0.00
2025/12	200,966	22	83,276	20	60,458	-3	23.49	2.08

四半期業績

2024/Q4	48,385	—	23,365	—	20,838	—	8.02	0.50
2025/Q4	59,893	24	24,745	6	22,768	9	8.88	0.52

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー世界大手

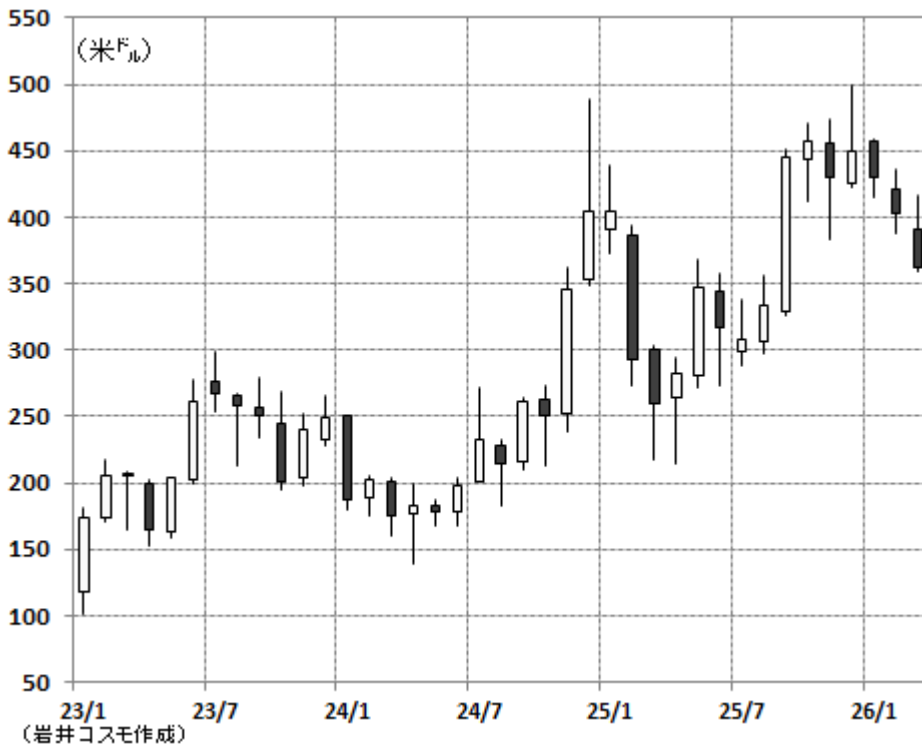
会社概要

2003年創業の世界的な電気自動車(EV)メーカー。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。25年のEV納車台数は前期比9%減の163.6万台。CEOのイーロン・マスク氏は米政財界で大きな影響力を持ち、宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任する等、世界を代表するカスマ経営者として知られる。S&P500種構成銘柄。

注目ポイント

□ **AI半導体を自前化する「テラファブ」構想**: 急増するAI需要を見据え、スペースX等と共同で次世代半導体工場「テラファブ」を米テキサス州に建設する計画を発表。総額250億ドルを投じ、自動運転や人型ロボット向けに圧倒的な計算能力を確保する狙い。既存の供給網から脱却し、AI企業としての覇権確立に向けた超大型投資として注目が集まる。

□ **スペースX上場観測と保有株への思惑**: マスク氏率いる宇宙企業スペースXがIPOを申請するとの観測報道が浮上した。テスラの同社株保有割合は1%未満と少数ながら、上場が実現すれば巨額の含み益をもたらすとの期待が先行する。ロボタクシーの年内の米主要都市への展開に向けて「サイバーキャブ」は4月に生産開始する予定。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	361.83 (03/27)
52週高値(日付)	498.82 (25/12/22)
52週安値(日付)	214.25 (25/04/07)
時価総額	1兆3,577億ドル 217兆6597億円
株価変化率(%)	-18.4 (過去6ヶ月間) 37.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	300.3 (倍)
株価売上高比率	12.3 (倍)
PBR	16.5 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	4.9 (%)
株式ベータ	1.63 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	97,690	1	7,076	-20	7,091	-53	2.04	0.00
2025/12	94,827	-3	4,355	-38	3,794	-46	1.08	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q4	25,707	—	1,583	—	2,125	—	0.60	0.00
2025/Q4	24,901	-3	1,409	-11	840	-60	0.24	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

防衛から民間大手まで広範に使用可能なデータ分析プラットフォームを提供

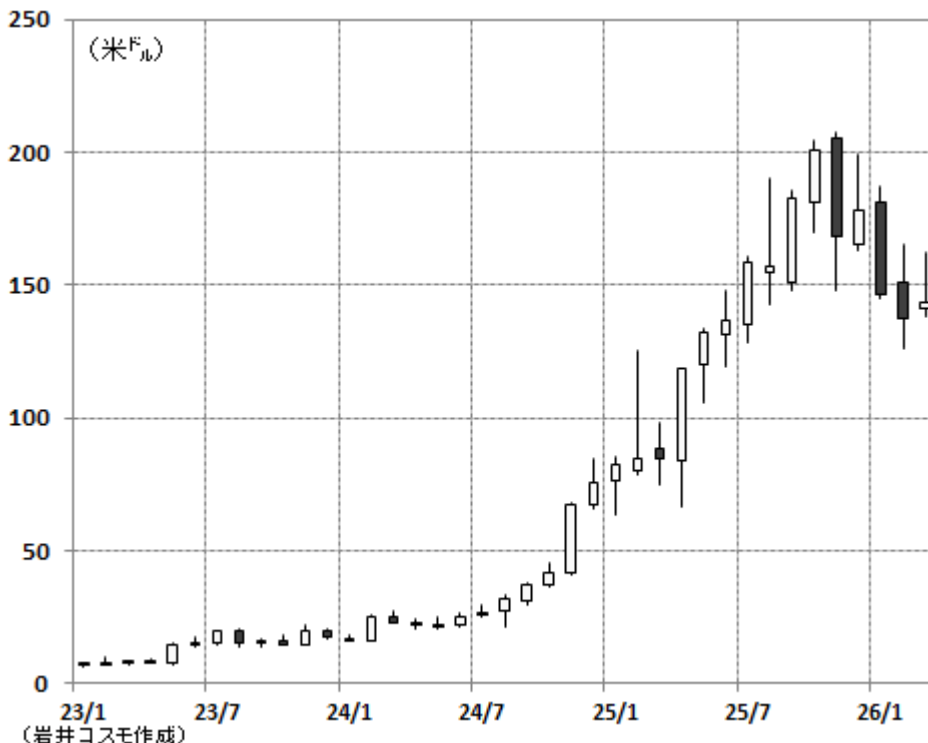
会社概要

データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティール氏やCEOのアレクサンダー・カプ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析、抽出できる技術に定評有り。「パランティア」は映画「指輪物語」の何でも見通すことが出来る水晶玉に由来。同社株式は2020年9月に直接上場方式でNYSE上場、24年9月にS&P500指数採用、同年11月にナスダックに鞍替え、翌12月にナスダック100指数に採用された。

注目ポイント

米民間部門が急成長: 10-12月期売上高は前年同期比70%増の14.1億ドルと上場来最高の伸びを記録。特に米民間売上は137%増の5.1億ドルと驚異的な成長を遂げた。AIプラットフォーム「AIP」導入のための「ブートキャンプ」が新規顧客獲得に功を奏し、当該四半期で180件もの100万ドル超の大型案件が成約した。

米国防総省がAIシステム正式採用: 米国防総省は同社のAI指揮統制システム「メイブ・スマート・システム」を公式プログラムとして正式採用する方針。戦場のデータを分析し標的を特定する同システムが軍全体に導入され、安定的・長期的な資金提供が可能となる。米政府部門における「AI実効力」の圧倒的な優位性が改めて証明された格好。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	143.06 (03/27)
52週高値(日付)	207.52 (25/11/03)
52週安値(日付)	66.12 (25/04/07)
時価総額	3,422億ドル 54兆8,506億円
株価変化率(%)	-20.0 (過去6ヶ月間) 66.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	224.7 (倍)
株価売上高比率	75.8 (倍)
PBR	45.4 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	26.2 (%)
株式ベータ	1.87 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	2,866	29	310	2.6倍	462	2.2倍	0.19	0.00
2025/12	4,475	56	1,414	4.6倍	1,625	3.5倍	0.63	0.00
四半期業績								
2024/Q4	828	—	11	—	79	—	0.03	0.00
2025/Q4	1,407	70	575	52倍	609	7.7倍	0.24	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

特殊ガラス製品メーカー、AIインフラとして需要が急増する光ファイバーで復権中

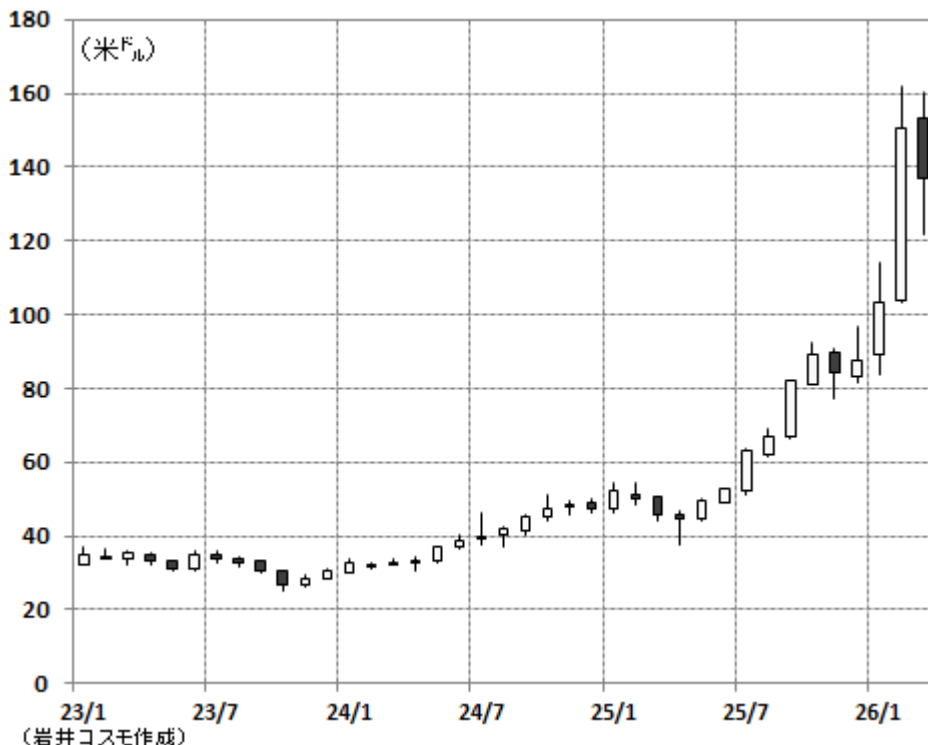
会社概要

1851年創立。特殊ガラスやセラミックスの世界最大手。エジソンの電球用ガラスに始まり、iPhoneの「ゴリラガラス」で知られる高い技術力を誇る。事業は光通信、ディスプレイ、環境、ライフサイエンス分野まで多岐に亘るが、現在はAIデータセンター需要に伴う光ファイバー関連が急成長。24年に開始した中期成長戦略「スプリングボード」の下、生成AIブームを背景に力強い回復を遂げながら、収益性向上を加速させている。

注目ポイント

□ **メタと最大60億ドルの大型契約**: 26年1月にメタと最大60億ドル規模の複数年の供給契約を締結。メタのAIデータセンター向けに最新の光ファイバー、ケーブル、接続ソリューションを独占供給する。これに伴ってノースカロライナ州の製造拠点を大幅拡張、メタを主要顧客として米国本土でのサプライチェーンが充実・強化する。

□ **成長目標を引き上げ**: 強固な受注を背景に同社は26年末までの年間売上成長目標を従来の60億ドルから65億ドルへ上方修正。25年8月発表のアップルとの25億ドル規模の提携に続き、メガテック企業との深耕が続く。AI需要を追い風に25年度の光通信部門は、前年比3割超の増収が実現、営業利益率も19%台へ拡大した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	136.81 (03/27)
52週高値(日付)	162.06 (26/02/25)
52週安値(日付)	37.5 (25/04/07)
時価総額	1,175億ドル 18兆8,399億円
株価変化率(%)	70.5 (過去6ヶ月間) 198.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	72.2 (倍)
株価売上高比率	7.5 (倍)
PBR	9.4 (倍)
税前配当利回り(%)	0.82 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	14.2 (%)
株式ベータ	1.09 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	13,118	4	1,135	28	506	-13	0.58	1.12
2025/12	15,629	19	2,279	101	1,596	215	1.83	1.12

四半期業績

2024/Q4	3,501	—	393	—	310	—	0.36	0.28
2025/Q4	4,215	20	672	71	540	74	0.62	0.28

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

光部品・レーザーの米国大手、AI向け高速光通信で躍進

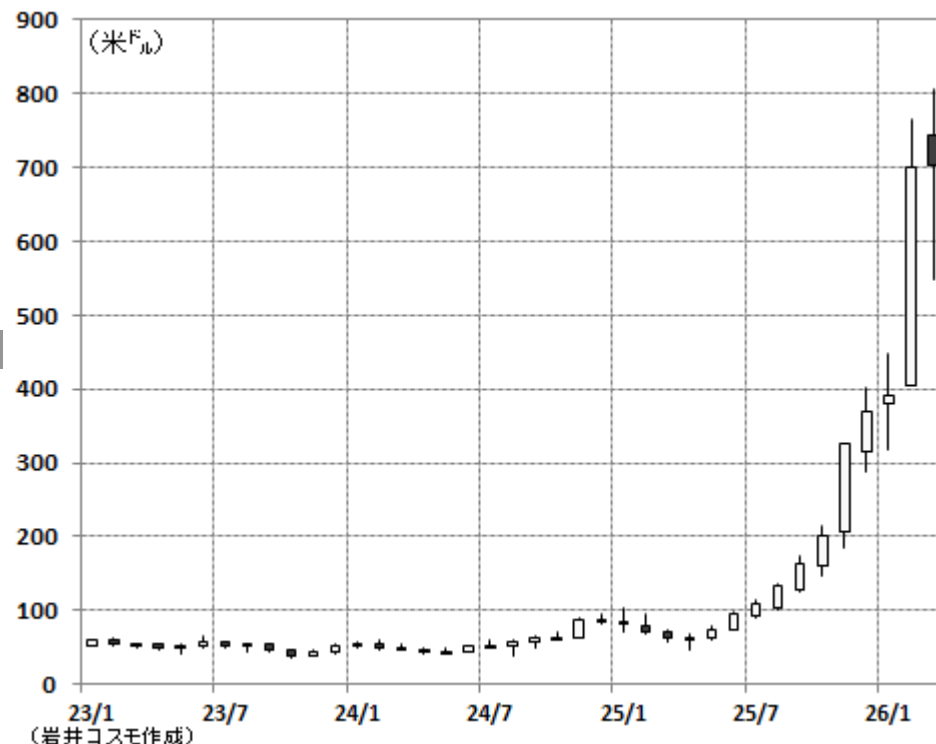
会社概要

光学部品や商用レーザーの設計・製造する米国大手。光通信の先駆者であるJDSユニフェーズを前身とし、2015年の分社化を経て、光学技術に特化した独立企業として再スタートを切った。現在はクラウド・ネットワークと産業・民生の2部門を主軸とし、生成AI向け高速トランシーバの供給やiPhone用3Dセンシング、自動運转向けLiDAR用光源等、多岐に亘る成長産業の基盤を支える。26年3月にS&P500採用。

注目ポイント

□ **AIインフラ需要の急拡大で恩恵**：生成AI市場の爆発的な成長に伴う超高速通信需要を捉え、収益の約6割をAI関連が占める。クラウド・ライト社の買収によりAIサーバ・同士の超高速で繋ぐ光通信部品の供給能力を飛躍的に高めた。得意先に光伝送装置大手のシエナやグーグルを抱え、継続的な大量受注が業績全体を押し上げている。

□ **光電融合技術の中核**：データ伝送時の発熱と消費電力を極限まで抑える「光電融合」技術で中核を担い、特にチップ近傍で光接続を行う共同パッケージ光(CPO)に不可欠な超高出力CWレーザーで圧倒的シェアを誇る。光の回路を半導体に埋め込んだエスビディア製品にも採用され、従来比80%の低電力化を実現する光源を提供する。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	702.73 (03/27)
52週高値(日付)	806.51 (26/03/25)
52週安値(日付)	45.67 (25/04/04)
時価総額	502億ドル 8兆0,435億円
株価変化率(%)	332.2 (過去6ヶ月間) 1,022.9 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	237.4 (倍)
株価売上高比率	23.4 (倍)
PBR	59.3 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	29.3 (%)
株式ベータ	1.98 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	1,359	-23	-434	赤継	-547	赤継	-8.12	0.00
2025/06	1,645	21	-180	赤継	26	黒転	0.37	0.00

四半期業績

2025/Q2	402	—	-52	—	-61	—	-0.88	0.00
2026/Q2	666	65	64	黒転	78	黒転	0.89	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

高度な鋳造技術を持つ特殊金属メーカー、スペースXの有力サプライヤー

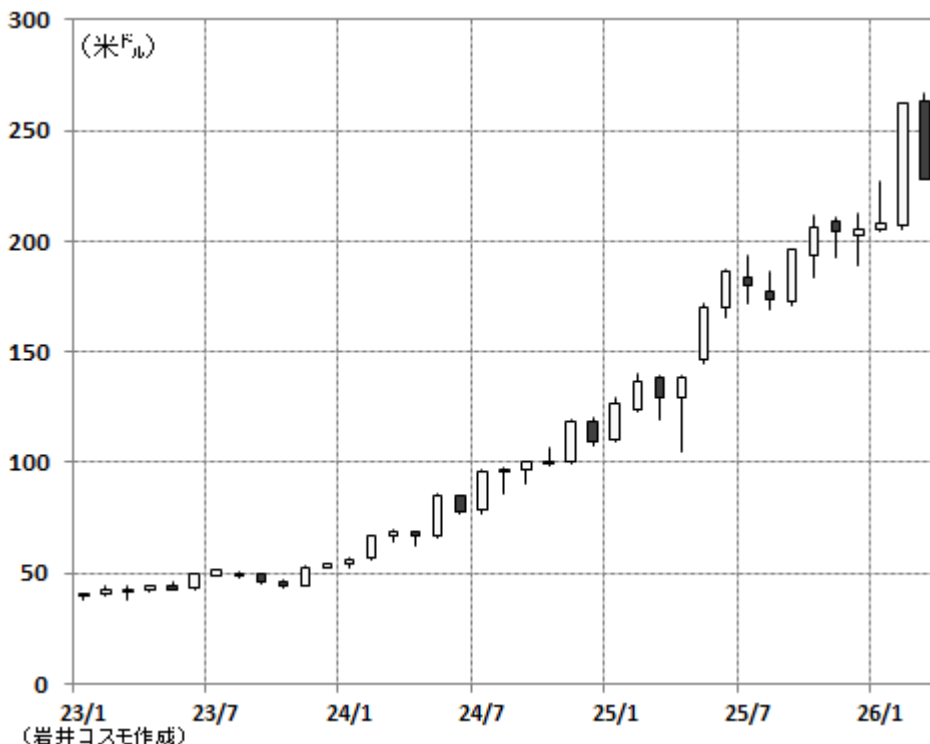
会社概要

航空宇宙産業や商業輸送向けの特殊金属製品を設計・製造するエンジニアリング・ソリューション企業。独自の精密鋳造技術を核に、ジェットエンジン用エアフォイル(翼)やチタン構造部材等で高い世界シェアを誇り、ボーイングやエアバス、GE、RTX等が主要顧客。20年4月に前身のアルコア(アロニック)からの事業分割を経てエンジニアリング製品に特化した企業として再スタートした。25年末の社員数は25,430名。S&P500構成企業。

注目ポイント

□ **高い収益性を誇る「シレット・モデル」**：民間機の運航増に伴うタービンブレード等の交換部品需要が継続的に発生するビジネスモデルにより、高い収益性を維持する。25年第4四半期の売上高は前年同期比15%増の21.7億ドル、調整後1株利益は同42%増の1.05ドルと市場予想を超過。25年末に留め具メカ-CAMの買収を発表、事業拡大を図る。

□ **隠れたAI銘柄・宇宙・発電部品が成長ドライバー**：スペースXのロケット向けに留め具やチタン製グリッドフィンを供給する有力サプライヤーの地位を確立。3月のIR説明会にて、DC電力需要増を背景に天然ガス発電用ガスタービン部品需要の急拡大を強調、同事業の売上高を今後3～5年で現在の約2倍(20億ドル規模)に引き上げる目標を提示した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	227.9 (03/27)
52週高値(日付)	267.15 (26/03/02)
52週安値(日付)	105.06 (25/04/07)
時価総額	914億ドル 14兆6,482億円
株価変化率(%)	18.7 (過去6ヶ月間) 75.7 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	60.2 (倍)
株価売上高比率	11.1 (倍)
PBR	17.1 (倍)
税前列当利回り(%)	0.21 (直近年率)
配当成長率(%)	48.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	30.6 (%)
株式ベータ	1.21 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	7,430	12	1,633	36	1,155	51	2.81	0.26
2025/12	8,252	11	2,046	25	1,508	31	3.71	0.44
四半期業績								
2024/Q4	1,891	—	445	—	314	—	0.77	0.10
2025/Q4	2,168	15	489	10	372	18	0.92	0.12

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スペースXの対抗馬、垂直統合型の宇宙ビジネス専門企業

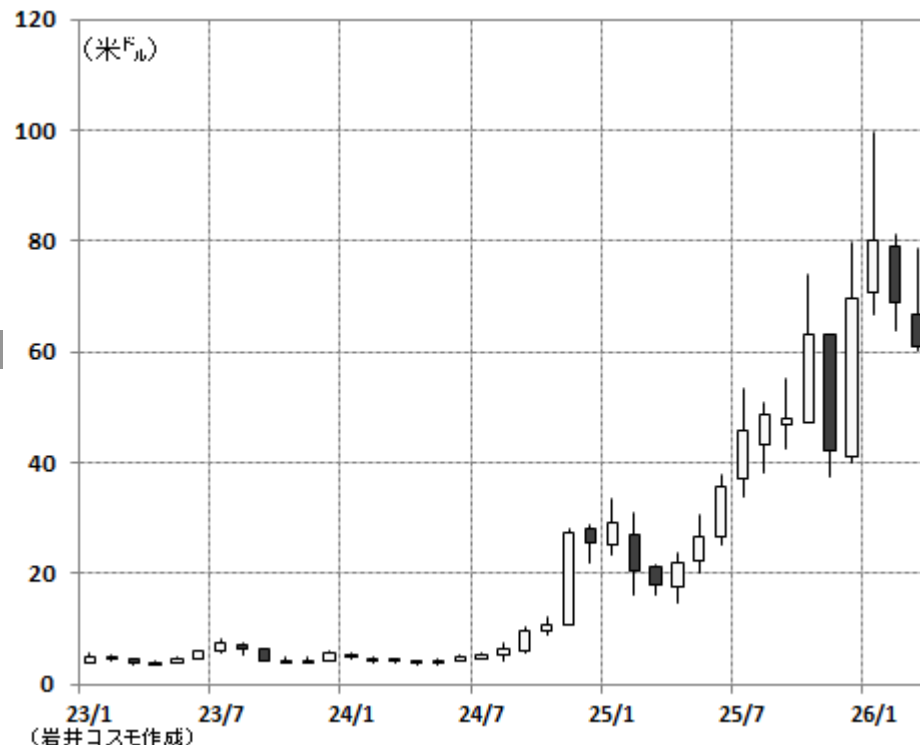
会社概要

スペースXの有力対抗馬と目される、ロケットの打ち上げから衛星製造、宇宙空間での運用までを一貫して手がける宇宙専門メーカー。主力である小型ロケット「エレクトロン」は米国で高い打ち上げ頻度を誇る一方、軍事用衛星・機材を手掛けるジオスト社やレーザー通信端末製造の独マイナリック社を25年に買収発表した。人工知能やレーザー通信等の衛星コンポーネントを内製する垂直統合型ビジネスモデルが特徴。

注目ポイント

□ **受注急増・基盤強固に**：10-12月期売上は1.80億ドルと市場予想を上振れて着地。1-3月期売上見通しは1.85億~2億ドルと市場予想(1.845億ドル)を上回った。年末時点の受注残高は前年比約73%増の過去最高となる18.5億ドルに達し、収益基盤が一段と強固になった。また製造能力増強のため、プレジジョン・コンポーネンツを買収した。

□ **次世代機開発の遅れ**：主力の小型ロケット「エレクトロン」は25年に21回の打ち上げに成功。一方、再利用型中型ロケット「ニュートロン」(積載量1.3万キロ・将来的な有人飛行も視野)は、試験中の推進剤タンク破裂により初打ち上げ時期を26年10-12月期へと延期したが、スペースXに対抗し得る有力な宇宙開発企業として市場からの期待は高い。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	60.93 (03/27)
52週高値(日付)	99.58 (26/01/16)
52週安値(日付)	14.77 (25/04/07)
時価総額	374億ドル 5兆9,915億円
株価変化率(%)	29.6 (過去6ヶ月間) 227.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	— (倍)
株価売上高比率	53.9 (倍)
PBR	19.2 (倍)
税配前当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-18.8 (%)
株式ベータ	1.93 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	436	78	-190	赤継	-190	赤継	-0.38	0.00
2025/12	602	38	-229	赤継	-198	赤継	-0.37	0.00

四半期業績

2024/Q4	132	—	-52	—	-52	—	-0.10	0.00
2025/Q4	180	36	-51	赤継	-53	赤継	-0.09	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

■商号等

取引注意事項

商号等： 播陽証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第29号

加入協会：日本証券業協会

■播陽証券の手数料及び投資リスクについて

- ①上場国内株券等委託取引の際には、約定代金に対して最大1.2265% (税込み、ただし最低2,750円)の委託手数料をご負担いただきます。
 - ②上場外国株券等委託取引の際には、約定代金(円貨)が7.5万円以下の場合は11.0%(税込)、7.5万円超50万円以下の場合は8,250円(税込)、50万円超の場合は最大で(約定代金の1.00%+2,500円)×1.1(税込)の委託手数料加算額、その他に現地取引所税等の取引手数料をご負担いただきます。
 - ③上場外国株券等店頭取引の際には、購入対価のみをお支払いいただきます。
 - ④投資信託のお取引の際には、下記の販売手数料及び信託報酬等の諸経費をご負担いただきます。
 - 販売手数料(購入価額に対して最大3.85%(税込))
 - 信託財産留保額(換金申込日、または換金申込日の翌営業日の基準価格に対して最大0.50%)
 - 信託報酬(信託財産の総資産総額に対して年率最大2.2%(税込))
 - その他、ファンドの監査費用等
- ◇株式や投資信託は投資元本が保証されているものではなく、価格や為替の変動により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、お取引の際には、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読み下さい。

■免責事項

- 当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としております。当資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて播陽証券がお客様にご提供いたしますが、見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。
 - ※本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。
- 当資料の情報を基に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、播陽証券は理由の如何を問わず、一切責任を負いません。